

英語科学習指導案

1 単元 Lesson 4 Hiro in the U.K. (TOTAL ENGLISH 2 学校図書)

2 考察

(1) 題材観

本題材における教科書本文においては、ヒロが実際にイギリスに到着し、レストランや買い物に出かけるという場面である。言語材料としては、助動詞を用いて、相手に丁寧な言葉で依頼したり許可を求めたり、こちらから提案したりする表現などを学習することにより、表現の幅を広げることができる。

(2) 生徒の実態

(3) 指導観

- ・単元の導入においては、ALT や教師が訪れたい国やそこでしたいことなどの旅の計画を紹介することにより「興味のある国に行って～したい」や「単元の終わりに自分の旅行計画を伝えたい・友達の旅行計画を聴きたい」という思いや目的をもてるようにする。
- ・展開の場面では、ALT と教師のモデルを見る機会を設け、表現を使う場面や状況を理解できるようにしたり、生徒同士が実際に会話する機会を十分にとったりし、学習内容を定着できるようにする。
- ・学習全体を通して、相手の話をしっかり聴いたり問いかけに応えたりすることの大切さを指導し、温かい雰囲気づくりに努めることにより、生徒同士が安心してコミュニケーションを図れるようにする。

3 単元の目標

助動詞を用いた丁寧な依頼、提案、許可を求めるなどの表現や使い方を理解し、レストランでの店員と客、買い物の場面での店員と客、その国で訪れたい場所などを伝える会話を体験することにより自分が思い描く旅行の計画を英語で紹介することができる。

4 指導と評価の計画 英語科 2年 単元「Hiro in the U.K.」(全15時間計画 本時は第2時)

目標	助動詞を用いた丁寧な依頼、提案、許可を求めるなどの表現や使い方を理解し、レストランでの店員と客、買い物の場面での店員と客、その国で訪れたい場所などを伝える会話を体験することにより自分が思い描く旅行の計画を英語で紹介することができる。				
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した表現を使って英語で尋ねたり答えたりしようとしている。 ・丁寧な依頼、提案、許可を求めるなどの状況について英語で表すことができる。 ・Could you ~? Shall I ~? May I ~? などの英語を聴いておおまかな内容を理解することができる。 ・助動詞を用いた英語での丁寧な依頼、提案、許可を求めるなどの状況に応じた使い方を理解している 				
過程	時間	目標 (ねらい) 課題	学習活動	ふりかえり	評価項目 (方法・観点)
つかむ	1	◎教師のモデルを見て単元の目標を理解し、見通しをもつ。 行ってみたい国で食べたい料理や訪れたい場所を紹介し合おう	・教師のモデルや映像資料、E-pilotの国々の特徴を見たり、友達が行ってみたい国について話を聴いたりし、単元の学習について知る。	・私は、イタリアに行って、パスタを食べたり、ピサの斜塔に行ったりしてみたいな。	・行ってみたい国や、そこで訪れたい場所、食べてみたい料理などを書いている。(ノート)
	7	◎海外で食べてみたい料理、訪れたい場所、買いたい物などについて会話できる。 店員や客役になって実際に会話してみよう。	・海外で食べてみたい料理の特徴(本時)、訪れたい場所、買いたい物などについて店員と客役になって会話する。	・Could you explain Falafel, please? ・実際に海外で使えそうだな。 ・丁寧な表現を学べたな。	・店員や客役になって会話している。(観察)
		2	◎学習内容を振り返り問題を解くことができる。	・学習した表現を用いた問題を解いてみる。	・会話していることを、読んだり書いたりして問題を解くと更に理解できるな。
追究する	2	◎目的地までの道順を尋ねたり、案内したりすることができる。 道順を尋ねる人、案内する人役で会話してみよう。	・道順を尋ねる人、案内する人に分かれて会話する。	・1年生の時より、より自然な表現で道順を尋ねたり案内したりできるようになったな。	・旅行者や案内人になって道順を尋ねたり案内したりしている。(観察・ノート)
	3	◎興味のある国への旅行計画を紹介できる。 自分が行ってみたい国で自分がしてみたいことを紹介しよう。	・旅行の計画を立て友達に紹介する。	・〇〇さんは、イタリアに行って、ピサの斜塔に行ってみたいのだな。 ・友達の行ってみたい場所や買いたい物等を聴けてよかったな。	・行ってみたい国で訪れたい場所、食べたい料理、買いたい物などについて紹介している。(観察・ワークシート)
まとめる	3	◎興味のある国への旅行計画を紹介できる。 自分が行ってみたい国で自分がしてみたいことを紹介しよう。	・旅行の計画を立て友達に紹介する。	・〇〇さんは、イタリアに行って、ピサの斜塔に行ってみたいのだな。 ・友達の行ってみたい場所や買いたい物等を聴けてよかったな。	・行ってみたい国で訪れたい場所、食べたい料理、買いたい物などについて紹介している。(観察・ワークシート)

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

Could you ~? の使用場面や意味を理解し、客役になって、店員役の相手に勧められた料理の特徴について説明してもらうことを求めることができる。

(2) 準備 料理の絵カード、料理の特徴を表す絵カード

(3) 展開

学習活動と予想される生徒の反応	時間	支援及び留意点及び支援・評価
1. 前時の復習をしたり本時の学習につながる簡単な会話をしたりする。	15	<ul style="list-style-type: none"> ○英語で学習する雰囲気づくりをする。 ・店員役になって飲み物を客役の相手に勧めたり、客役になって飲み物を頼んだりして前回の学習を振り返る。 ・味や食感などをヒントにして何の食べ物なのか当てるクイズをし、本時学習する表現に親しむ。
<p>2. めあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【めあて】 レストランで相手に勧められた料理の特徴について尋ねてみよう</p> </div> <p>3. 進められた料理の特徴について尋ね合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>会話例</p> <p>S1 : Excuse me. What's the lunch special today? S2 : It's roast beef with <input type="text"/> . S1 : Could you explain <input type="text"/> , please? S2 : Sure. It's soft, fluffy, like bread.</p> </div>	5 20	<ul style="list-style-type: none"> ○めあてをつかみ学習の見通しをもてるようにするために、教師のモデルを提示する。 ○全員が客役になって、店員役の生徒に料理の特徴を尋ねられるように班を半分に分けて、前半と後半で役を交代する。 ○事前に班ごとに興味のある国や紹介したい料理を決めておけるようにし、生徒がクラスメイトの選んだ国や料理に関心を持ち、主体的に料理の特徴について尋ねられるようにする。 ○会話の様子を観察し、相手の話をしっかりと聴いたり、相手の問いかけに丁寧に答えたりできていることを賞賛し、安心してコミュニケーションを図れるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価について 初めて名前を知った料理の特徴を丁寧な英語で尋ねている。(観察)</p> </div>
<p>4. 本時の学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習で表現したことをノートにまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【ふりかえり】 Could you explain Falafel, please? と自分が知らないメニューについて説明してもらうよう尋ねられた。</p> </div>	10	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあてに戻り、相手に勧められた料理の特徴について尋ねる英文をノートに書くことで生徒が本時の学びを確認できるようにする。 ○本時で学んだことのよさを全体で共有することにより、実際に自分が知らないことを耳にした際に、その特徴を相手に尋ねて詳しく知ることができるなどの学習した表現の有用性を意識できるようにする。